様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	中心市街地活性化事業（岡谷ＴＭＯ運営事業負担金）	コード	21303

2 担当部課	部等	産業振興部	課等	商業観光課	作成者	佐藤　嘉泰

3 事業概要				
目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
	政　策	産業の振興	施　策	商業の振興
	予算科目	中心市街地活性化事業費	業務委託	全部委託
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	なし		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		岡谷ＴＭＯが行う、賑わいイベント事業、経営アドバイス事業、商業活性化事業の負担金
目的	対象者	岡谷ＴＭＯ
	意　図	ソフト事業による中心市街地の活性化

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

〇商業会を中心とした中小小売店による魅力ある商業活動を支援する岡谷ＴＭＯを運営するための負担金
【主な事業】
・ＴＭＯ運営費
・賑わいイベント事業
　岡谷きつね祭(7月30日)、おかやフェスタ2016(10月22日)、おかや軽トラ市(8月7日、9月17日)
・経営アドバイス事業
　個店訪問情報交換事業
　若手リーダー育成事業
　第3回おかやまちゼミ事業＝平成29年2月2日～3月12日　27講座60回
・商業活性化事業補助金　申請件数・・27件

前年度の課題への対応	レイクウォーク岡谷と既存店舗の連携事業（スタンプラリーなど）を実施。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	支援事業数			単位	団体
実績値	1	1	1		
＊指標の説明	支援事業者の岡谷ＴＭＯ				
② 成果指標（指標名）	まちゼミ参加店舗			単位	店舗
目標値	23	23	26		24
実績値	23	23	26		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
＊指標の説明	実施店舗				
＊目標値の設定方法の説明	過去3年間の実績値平均				

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	4,301,170	3,950,116	5,022,590	4,354,000
経常経費	4,301,170	3,950,116	5,022,590	4,354,000
臨時的経費	0	0	0	0
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
正規職員の人数（人）	0.20	0.20	0.20	0.20
③ 合計コスト（①＋②）	5,901,170	5,550,116	6,622,590	5,954,000
前年度比		94.1%	119.3%	89.9%
財源内訳 一般財源	5,901,170	5,550,116	6,622,590	5,954,000
財源内訳 特定財源	0	0	0	0
＊特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	5,901,170	5,550,116	6,622,590	
前年度比		94.1%	119.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
岡谷ＴＭＯ運営事業負担金	件数	1	1	1	1
	金額	4,301,170	3,950,116	5,022,590	4,354,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	4,301,170	3,950,116	5,022,590	4,354,000
	割合	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　妥当性　標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		0

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　有効性　標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　113.0%	1	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　100.0%	1	

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 既存店舗へ人の流れを作るために、レイクウォーク岡谷と地域店で連携事業（イベントやスタンプラリーなど）を行っているが、人口減少もあって既存店舗のお客が減少している。	
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 大型店と連携するなかで、まち歩きなどによるお客の誘導を図っていく。	
	改善開始時期	平成28年7月～

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B